

自然と人間社会の問題 - 口蹄疫

- 日本経済新聞日経プラスワン、ニュースにチャレンジで考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

日本経済新聞の毎週土曜日発行「NIKKEI プラス 1」の中に、「子どもニュース PLUS1」という紙面があります。5月22日発行の紙面では、「自然と人間社会の問題」として、宮崎県で発生した牛や豚の病気がどうして大騒ぎになったのかを取り上げていました。

私は、日本経済新聞の編集部から依頼を受け、その記事のコメントを「おしえて!!先生」のコーナーに書かせていただきました。そこで今日は、そのお話をさせていただきます。

2. (1)宮崎県の農場で飼育されていた牛や豚に伝染病が広がり、非常事態宣言が出されました。この伝染病は口蹄疫(こうていえき)と呼ばれるものです。記事は、これはどのような病気で、どうして広まってしまったのか、また、なぜ発病していない牛や豚を殺さなければならないのか、獣医さんには治すことができないのかと、子どもたちが心配しているという取り上げ方で始まっています。
- (2)皆様もご存知のように、口蹄疫は牛や豚などの家畜に感染する病気で、口や蹄(ひづめ)に水疱(すいほう)、つまり水ぶくれができます。「疫」とは流行病・感染症という意味ですので、文字通り(牛や豚の)口や蹄に水ぶくれができて広まる伝染病ということです。発病すると熱が出ますので、体力のない子牛は死ぬことが多く、成牛も元気がなくなって飼うことが大変になります。ただ、私たちが食用にするのは大丈夫ということです。
- (3)口蹄疫は感染力が非常に強いので、感染した家畜はすぐに殺処分するように法律で定められています。とてもかわいそうな気がしますね。
- (4)畜産業・農業・林業・水産業などを第1次産業と言いますが、これには人間が自然と向き合ってきた長い伝統があります。例えば日本では、畜産業を営む方々が、和牛という良質の肉牛を育てるために、また、よい豚肉や鶏肉をつくるために、牛や豚、鶏の飼育を仕事になさっています。栃木県にも栃木和牛という銘柄があり、おいしいと評判ですね。これは、日本以外の国々も同様で、その国その国で食文化の一つとして一所懸命に行われていることです。このように、人間が自然と向き合ってきた長い伝統によって、日本の畜産業は成長してきたと言えると思います。
- (5)最近では外国との競争も激しくなってきたため、日本の畜産業の方々には生き残りをかけてこれまで以上に必死になって仕事をなさっています。売り方も工夫して、店での目玉商品や割引対象商品にするなどしています。

(6)ですから、畜産を営む方々や関係者の方々がしている様々な工夫、例えば、どのようにして品質のよい牛を育てているのか、それをどのように流通させているのか、どのように販売しているのか、おいしく料理するためにどのようなことをしているのかなどについて調べることも、とても素晴らしい勉強になると思います。

(7)残念なことに、今回は法律に基づいた行政の決定によって、家畜を処分せざるを得ない状況になりました。このままいくと、農場が閉鎖されたり、借金があるところでは倒産したりと大変なことになります。

(8)法律や行政の決定で殺処分しなければならなかったのですから、国や地方自治体が支援するのは当然と言えます。ところが、困ったことに、国や県、市町村は財政難です。税収入が少ないので、お金の余裕があまりないという状態なのです。ですから、農家の方々をどの程度まで支援するのか、いくらくらい支払うのがよいのかということで、政府も県知事さんも各市町村長さんも苦労しているようです。

(9)このようなことも含めて、皆様には今後の推移を見守っていただきたいと思います。そうすると、政治や行政と農家の方々、住民の方々との関係を考えるよい勉強になります。

(10)少し難しいことですが、このような危機に陥ったときにどのように仕事を継続していくのかということも、ぜひ考えていただきたいと思います。例えば、台風や地震の被害に遭ったときにどのようにしたら仕事が続けられるのかという大きな問題があります。実際に、昨年秋ごろには新型インフルエンザが蔓延して大変な状況になりました。これを、難しい言葉で「事業継続計画」と言います。これは、仕事(事業)をどのようにして継続するかについて、予め計画しておこうということです。英語ではBCP(Business Continuity Plan ビジネス・コンティニュイティ・プラン)と言います。Business (仕事)をContinuity(どのように継続するか)についてPlan(計画を立てておく)ということですね。

(11)これは企業や事業主の方だけではなかなかできませんので、国や県、市町村、金融機関、産業界、地域などが一体となって行わなければならないことだと思います。だからこそ、難しい問題もはらんでいます。

(12)この口蹄疫が日本全国に広まらないようにするためにはどうしたらよいかを考えることもとても大切なことですので、皆様にもこの問題に関心を持っていただき、考えていただきたいと思います。

3. おわりに

22日発行の日本経済新聞「NIKKEI プラス1」の「子どもニュース PLUS1」のコーナーに解説を加えさせていただきましたので、今日はそれに関連したお話をさせていただきました。

農家の方々は大変でしょうが、ぜひ頑張ってくださいと思います。

* ニュースにチャレンジの「おしえて!!先生」のコーナーに、ほぼ毎月1回コメントを書かせていただき1年になる。短いコーナーだが、読む方もためになる、勉強になるかもしれないが、書く方はその100倍以上勉強になる。素晴らしいチャンスを月1回与えていただき、有難く思う。

